



これから、
一生懸命
がんばります！



令和6年度の町役場の体制 町職員の人事異動および 新採用職員の紹介

町は、4月1日付けで、人事異動を発令しました。
詳しくは、以下のとおりです。

〔退職者〕令和6年3月31日付		〔新〕	
氏名	氏名	氏名	氏名
佐川 勝美	企画情報課長補佐兼広報広聴係長	渡部 栄二	町民税務課長
山口 則夫	農林振興課付課長補佐(二財) 西会津町農業公社派遣	岩淵 東吾	商工観光課長
石本 翼	建設水道課主査	齋藤 正利	生涯学習課長兼公民館長兼歴史文化基本構想推進室長
遠藤 耀太	建設水道課主査	矢部喜代栄	健康増進課長
企画情報課主査	薄 信康	五十嵐博文	会計管理者兼出納室長
総務課付副主査 福島県実務研修生派遣	伊藤 徳裕	鈴木 利博	農林振興課主幹
町民税務課副主査	安部 政幸	長谷沼充伸	総務課長補佐兼総務係長
農林振興課副主査	長谷川博一	青津 直子	出納室主任出納員
学校教育課副主査	菅野 莉沙	武藤 洋一	企画情報課長補佐(デジタル戦略室担当)
町民税務課主事	金田遼太郎	三留 昭生	福祉介護課長補佐兼子育て支援センター所長兼こども園副園長
町民税務課主事兼出納室	神田 陽萌	佐藤 泰久	農林振興課長補佐
商工観光課主事	菅野 凧沙	佐藤 栄作	建設水道課長補佐兼管理係長(維持担当)
建設水道課主事	鈴木 郭夢	薄 清久	建設水道課長補佐兼管理係長(維持担当)
生涯学習課主事	長谷川雅典	小林 和洋	学校教育課長補佐兼給食センター所長兼係長
生涯学習課主事(奥川分館)	井上 宗知	齋藤 淳	総務課行政係長
農業委員会主事	井上 慎人	増子 恵子	健康増進課国保係長
町民税務課主事	橋谷田聡史	江川 恵一	企画情報課企画政策係長
健康増進課保健師	新規採用	長谷川浩一	議会議務局長
農林振興課主事	新規採用	佐藤 美恵	町民税務課税務係長(民税担当)
商工観光課付参与(西会津町振興公社派遣)	新田 新也	江川すが子	福祉介護課介護係長
企画情報課付参与(一社) 西会津ケーブルネット派遣	石川藤一郎	伊藤千佳子	農林振興課農政係長
農林振興課付参与(一財) 西会津町農業公社派遣	渡部 峰明	本田 誠治	町民税務課税務係長(固定資産税担当)
国保西会津診療所主任看護師兼国保群岡診療所主任看護師	荒井恵美子	伊藤 雄一	生涯学習課主任主査
国保西会津診療所主任看護師兼国保群岡診療所主任看護師	矢部 正子	秦 康広	農林振興課主任主査併農業委員会
国保西会津診療所主任看護師兼国保群岡診療所主任看護師	暫定再任用(短時間勤務)	小柴 芳成	建設水道課主任主査

◆地域おこし協力隊
3人の着任により、町内で活動する地域おこし協力隊は計9人です。



はせがわ たかし 隊員
長谷川 貴司 隊員
【担当】 農地保全



いとう だいき 隊員
伊東 大樹 隊員
【担当】 園芸作物振興



えんどう かいと 隊員
遠藤 海渡 隊員
【担当】 ボランティア支援

▶町民の皆さんとの関わりを大切にしながら、日々努力を忘れず実直に業務に従事していきたいです。よろしくお願ひします。



農林振興課 主事
わたなべ たかひろ
渡辺 貴洋



健康増進課 保健師
さんべい ひろえ
三瓶 弘枝

▶生まれ育った西会津町で働けることを誇りに思いながら、町民の皆さんに信頼される職員になれるよう、職務に臨みます。



町民税務課 主事
はしやま さとし
橋谷田 聡史

◆新採用職員を紹介
今年度、西会津町職員となった3人に意気込みを聞きました。



地域の活性化に期待

新たに事業連携協定を締結

町では、「一般社団法人日本財団ドワンゴ学園準備会および学校法人角川ドワンゴ学園と事業連携に関する協定」を提携しました。3月7日に町役場において締結式が行われ、薄町長と鈴木寛顧問、奥川地域づくり協議会の武藤道廣会長の3者が協定書に署名しました。

令和7年に開学予定のZEN大学は「日本発の本格的なオンライン大学」として時間や場所にとらわれない学びの提供を行う予定で、町と奥川地域づくり協議会は、ZEN大学の地域・企業連携プログラムの1カ所として位置づけられます。希望する学生が町を訪れ、地域資源を活かしたプログラムが実施される予定です。

本協定では、地域住民と学生との交流による集落支援や担い手不足の解消、長期滞在による移住定住者の増加など、多くの分野において地域活性化が期待されます。



▲左から武藤会長、鈴木顧問、薄町長

町長コラム その39

令和5年度の移住者数が確定した。町は、これまで人口減少対策として、人材の育成、移住定住、健康長寿を3本柱に据え、首都圏での移住相談会やインターネットによる情報発信など、様々な取り組みを実施し、令和5年4月からは「西会津のある暮らし相談室」を開設し、移住定住に関する支援策やインターネット環境、子育て支援や教育など町政全般に渡り、案内窓口として対応してきたところである。

令和元年度から5年度までの移住者数は、5年間で61組、85人で、年平均12.2組、17人であり、町総合計画（第4次）での移住者目標は、年平均10人であるので、総合計画の目標を7人上回っている。さらに、移住者の年齢層も20代から40代の若い世代が60人と、移住者全体の70.6%を占めており、令和4年度の福島県全体の40代までの移住者層割合を超えるなど、町の移住定住対策は高い実績を挙げているところであるが、今後も引き続き「日本の田舎、西会津町。」の魅力を最大限にPRするとともに、相談者に寄り添い移住に向けた伴走型の支援体制で、移住人口の拡大と町の活性化を図ってまいりたい考えである。

西会津町長 **薄 反喜****年度ごとの移住定住者数**

年度	相談件数	移住者数	
		組数	人数
令和元	131件	8組	8人
2	263件	16組	23人
3	124件	11組	17人
4	125件	11組	17人
5	116件	15組	20人
合計	759件	61組	85人（内20～40代が60人）
年平均	151.8件	12.2組	17人（総合計画より7人上回る）
総合計画（第4次）での目標人数			10人

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。